

2016年2月1日

透明性の高い流通環境構築に向けて

JGS 理事長 伊藤 彰

消費者の信頼を得るためには、情報の開示が大切です。思い起こせば、悪い思い出として、ベリリウム処理のサファイヤの問題がありました。最初に処理を行った人は必ずおり、正しい情報を持っていたはずですが、大地から石が採取される場所から立ち会っていれば、全ての流通過程を知る事ができ、原石への処理や研磨後の処理が施される過程を予知・検知できます。また、中途からの買い付けであれば、トレーサビリティと処理の情報を仕入先に聞く、そして取引先顧客に伝えるべきです。この伝達が流通過程の中で滞ることなく、そして鑑別機関に頼りすぎることなく普遍的に流れてゆくシステムを構築しなければなりません。

商売は出来るだけ安く買い、出来るだけ高く売ることによって高利益を得られるのですが、利益追求だけを目的に宝石に施された処理を正しく開示せずに売るとは、将来自身の商売を危うくすることになる事を、倫理的見地に立ち、当協会員の皆様は仕入先に必ず仕入れる宝石の処理情報を確認してください。それが消費国日本の宝石産業に従事する私達の役目だと思います。ですから『消費者の信頼を得るには、トレーサビリティ、情報の開示が重要』なのです。

そのためにも有益な情報と手段を入手できる当協会の勉強会とシンポジウムは貴重な機会であり、協会員の皆様には今まで以上に奮ってご参加いただけますようお願い申し上げます。